

2023 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	英語ⅡA (English 2A) 112008-14-000					担当教員	池 優子 (イケ ユウコ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	2	配当年次	2 年次	開講期	通年
科目特性	協同学修型 AL								

① 授業のねらい・概要

言葉を理解することは、その言語の背景にあるその国の文化を理解することでもある。世界言語としての英語を通して世界の国々に目を向け、旅行計画を立てる中で、リーディング、ライティング、スピーキングなどのコミュニケーション（自分の意見を持つ、意見を言う、相手の意見を聴く）能力と国際人としての意識の養成を目指す。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

コミュニケーション能力を育成する授業である。

③ 授業の進め方・指示事項

本授業は、テキストに提示される、世界をテーマにした課題について学生が主体的に選び、調べ、グループでシェアすることで、今までに得た英語の単語や文法の知識を運用することに重きを置く。インターネットを利用してのリサーチ、テキストに沿った年4回のプレゼンテーションを準備し発表し、それを評価する。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

英語 I

⑤ テキスト（教科書）

Richard McMahon (2005) 「Travel abroad Project」 南雲堂

⑥ 参考図書・指定図書

なし

⑦ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安

- (i) ボキャブラリー：トピックに関連する英語を日本語で説明できる。（言葉の意味を理解できる。）
- (ii) リサーチ：課題の内容について調べ、まとめ、他者に説明ができる。
- (iii) プレゼンテーション：自分の考えを伝えることができる。また他者の考えを聞くことができる。

⑧ ルーブリック								
評価項目	評価基準							
	S	A	B	C	D			
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する			
(i) ボキャブラリー	英語の意味を理解し、ミスのない英文を書くことができる。	言葉の意味を概ね理解し、ミスの少ない英文を書くことができる。	言葉の意味をだいたい理解し、ミスがあっても英文を書くことができる。	言葉の意味を少し理解し、意味が伝わる英文を書くことができる。	言葉の意味を覚えられず、英文を書くことができない。			
(ii) リサーチ	課題の意味を理解し、リサーチした内容に対する的確な自分の意見を英語で書くことができ、それをグループで説明できる。	課題の意味を理解し、リサーチした内容に対する自分の意見を概ね英語で書くことができ、グループで説明できる。	課題の意味を理解し、自分の意見が伝わる英語で書くことができ、グループで説明できる。	課題の意味を概ね理解し、自分の意見を持つことができ、グループで説明できる。	課題の意味を理解できず、リサーチのポイントがずれていて、グループに説明できない。			
(iii) プレゼンテーション	内容に合った画像資料を用意し、聞き取りやすいスピードの英語で発表、質疑応答ができる。	内容に合った画像資料を用意し、概ね英語で発表、質疑応答ができる。	画像資料を用意し、原稿を見ながら聞き取りやすいスピードで発表、質疑応答ができる。	画像資料を用意し、原稿を見ながら発表、質疑応答ができる。	内容に合った画像資料を用意できず、発表が聞き取れず、質疑応答ができない。			
⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合			20%	40%	30%	10%		100%
(i) ボキャブラリー			5%	10%				15%
(ii) リサーチ			15%	30%		5%		50%
(iii) プレゼンテーション					30%	5%		35%
フィードバックの方法	プレゼンテーションのフィードバック、評価、レポートは返却して指導する。							
⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）								
英語は苦手だがこれからの社会には必要、話せるようになりたい、との声が多いので、知識としてある英語をアウトプット運用する授業を目指す。								

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	オリエンテーション・英語力確認テスト	英語 I の復習	120 分
2	自己紹介ワーク・世界を知ろう	興味ある国について調べる	120 分
3	Vital information 出発前の準備	知らない単語を調べる	120 分
4	Unit 1 travel check	本文中の知らない単語を調べる	120 分
5	Unit 2 choosing a country	5 つの疑問詞、疑問文を作るために行きたい国のいろいろな分野を調べる	120 分
6	Unit 3 travel topics	旅先の気候、地理、歴史、産業について調べる	120 分
7	Unit 4 presentation プレゼンテーションの準備	プレゼンテーションの原稿を仕上げる	120 分
8	プレゼンテーション	知らない単語を調べる	120 分
9	Unit 5 The Arts	その国の芸術のついて調べる	120 分
10	映画について	本文中の知らない単語を調べる	120 分
11	音楽について	本文中の知らない単語を調べる	120 分
12	Unit 6 Wildlife	本文中の知らない単語を調べる	120 分
13	Unit 7 food shopping	本文中の知らない単語を調べる	120 分
14	Unit 8 presentation プレゼンテーションの準備	プレゼンテーションの原稿を仕上げる	120 分
15	プレゼンテーション	前期の復習	120 分
16	地球で起きていること～SDGs について考える	知らない単語を調べる	120 分
17	Unit 9 Getting there	本文中の知らない単語を調べる	120 分

18	Unit 10 activities	本文中の知らない単語を調べる	120 分
19	文法確認ワーク	プリントにて文法を確認する	120 分
20	Unit 11 ルートを考える	行ってみたい観光地等を調べる	120 分
21	Unit 12 presentation プレゼンテーションの準備	プレゼンテーションの原稿を仕上げる	120 分
22	プレゼンテーション	本文中の知らない単語を調べる	120 分
23	Unit 13 Travel Items	本文中の知らない単語を調べる	120 分
24	空港にて・ホテルにて	プリントにて単語、文法を確認する	120 分
25	体調不良の時	プリントにて単語、文法を確認する	120 分
26	文法確認ワーク	プリントにて文法を確認する	120 分
27	Unit 14 presentation プレゼンテーションの準備	プレゼンテーションの原稿を仕上げる	120 分
28	プレゼンテーション	テキスト後半トラベルジャーナルを完成させる	120 分
29	プレゼンテーションの評価	後期の復習	120 分
30	レポート準備	後期の復習	120 分

⑫ アクティブラーニングについて

協同学修型 AL を採用する。課題の選択肢から学生が主体的に課題を選び、調べ、まとめてグループワークやディスカッションをする。まとまったものをプレゼンテーションにてシェアをする。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性